

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123121090	流行論 Trend Theory	山口佐和子			2	選択	2前期

科目の概要

DP2に記載している、ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付け、地域再生に貢献する人材育成を目指す。
 そのために、この科目では、流行に関する社会学の理論を修得する。流行の諸相を具体的に考察するため、おもに音楽について紹介する。時間が許せば、ファッションや言葉などの流行についても紹介する。流行は、社会に生きる、時代時代のひとつの共通の欲求のシンボルであり、またそれ自身が社会のありように影響を及ぼすことを学修する。

学修内容	到達目標
① 流行に関する社会学の理論や専門用語について知り、説明できるようになることを目的とする。 ② 具体的な流行の諸相を考察する。 ③ 自らの関心分野における流行を捉え、分析し、表現する。	① 流行に関する社会学の専門用語や社会学の理論を説明することができる。 ② 流行の諸相を考察することができる。 ③ 情報収集の基礎的技法を活用して、自らの関心分野における流行を調べることができる。 ④ 調べた結果を活用し、周りの人にわかりやすく表現することができる。 ⑤ 自分なりに、今後の流行を予測あるいは提案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自発的・積極的に学修および調査研究を進めることができる。
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできないとき人の力を借りるため声掛けができる。
	実行力	困難があっても、工夫しながら目標に到達できる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理することができる。
	計画力	計画通り進まない時、計画内容を修正し、最終的に期限内に完成できるように進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく工夫のある発信の仕方をすることができる。
	傾聴力	人の意見を確認し、それをもととして自分の意見を述べるることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。
	規律性	遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するために協力することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『J-POP文化論』宮入恭平、彩流社、1,800円＋税
 参考文献：『H・ブルーマーの集合行動論－流行理論を軸として－』、学文社、3,300円＋税

他科目との関連、資格との関連

この授業で学ぶ内容は、ライフスタイル学科での学びの軸となる科目であり、直接的にビジネス・地域活性関連科目、また、最終的には卒業研究へとつながっている。「社会学」、「服飾文化論」などと隣接する。

学修上の助言	受講生とのルール
授業では講義を中心におこなうが、各時代背景についての予習・復習を欠かさずおこなうこと。 授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もノートにとること。 プレゼンテーションはファイル形式で作成し、デジタル化する。	学則で定められたように、遅刻2回で欠席1回とみなす。 授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係ない電子機器の使用を禁ずる。 授業の課題、予習、復習に取り組むこと。 授業で配布する資料の予備は保管しないので、他の受講者からコピーさせてもらうこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	流行論の基礎内容を理解しているか、および自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。知識の獲得（社会学の流行に関係する基本理論や専門用語の理解ができていないかが評価される）：40%、知識の活用と知識による解決（流行に関わる考察をもとに、正しい日本語で、論理的に、また説得力のあるオリジナリティに溢れたものとして書かれているかが評価される）：20%	
				②	✓		
				③			
				④			
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①		授業で提示する課題について深く調べて自分の言葉でまとめ、語る能力を評価する。知識の活用（学修した知識をもとに、課題を見つけ、情報収集を行ないまとめ、効果的なパフォーマンスでプレゼンテーションできているかが評価される）：20%、知識による解決（オリジナリティに富んだ結論・提案を導いているかが評価される）：10%		
			②				
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）積極的に学修し文献や情報を探することができる。 （働きかけ力）ひとに声掛けができる。 （実行力）工夫しながら目標に到達できる。 （課題発見力）課題を客観的に整理できる。 （計画力）計画し期限内に完成できる。 （創造力）いろいろな方向から考えることができる。 （発信力）聞き手に対しわかりやすく表現できる。 （傾聴力）複数の意見を聞くことができる。 （柔軟性）異なる意見を受け入れることができる。 （状況把握力）集団の中で自分ができていることを考えることができる。 （規律性）授業のルールを守ることができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識をじゅうぶんに活用し、流行に関わる社会学理論や専門用語をじゅうぶんに説明できる。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的で、オリジナリティに富んだものを執筆できている。プレゼンテーションにおいて論理的かつ有効なパフォーマンスでオリジナリティに富んだものを提供できている。</p> <p>A (優) の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識を活用し、流行に関わる社会学理論や専門用語を説明できる。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的に執筆できている。プレゼンテーションにおいて、論理的かつ有効なパフォーマンスでオリジナリティに富んだものを提供できている。</p>	<p>B (良) の目安：授業内の課題に取り組み、筆記試験において、授業から得た知識を活用し、流行に関わる社会学理論や専門用語を理解できている。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、論理的に執筆できている。プレゼンテーションにおいて、意図をじゅうぶんに理解した発表ができる。</p> <p>C (可) の目安：授業内ですべきことを理解し、また適切な行動ができる。筆記試験においては、授業から得た知識を活用し、流行に関わる社会学理論や専門用語を理解できている。筆記試験の論述において、授業内外での考察をふまえ、正しい日本語で、設問を理解して執筆できている。プレゼンテーションにおいて、意図を理解した発表ができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション 流行理論を唱えた初期の社会学者ジンメル の理論を学修する。成果発表の課題や方法について理解をする。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：授業で提示した課題に取り組む。	90	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
2	流行の基礎理論 流行の基本的概念、流行の基本的特性、流行の発生領域について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	流行のミクロ的レベル 流行を採用する個人の動機、流行を選択するパターン、流行受容と感受性について学修する。授業内で実施する個人発表テーマについて説明を受ける。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。発表準備に取り組む。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	流行のマクロ的レベル 流行の発生する社会構造、流行と社会変動について学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。発表準備に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。発表準備に取り組む。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	ブルーマーの集積的選択理論 流行メカニズムの分析、流行の一般的性質、流行の社会的役割について学修する。成果発表について進捗状況を報告する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。成果発表について進捗状況を報告する。	予習：授業で提示した課題に取り組む。発表準備に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。発表準備に取り組む。	225	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	流行に関わる成果発表 自らが調べた自分のなかの流行について発表をする。フィードバックを聞く。	プレゼンテーション フィードバック	発表内容を静かにしっかりと集中して聞き、必要に応じてノートにとることができる。用意した発表を行う。	予習：授業で提示した課題に取り組む。発表準備に取り組む。 復習：ノートを読み返し、発表内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	225	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	音楽から考える流行 J-POPの類型とはじまりについて学修する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	工業製品としてのJ-POP 工業製品ができあがるまでの過程とJ-POPの作成過程との間に類似性が存在する場合があることを認識する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	J-POPとジャンル概念 J-POPをジャンルという切り口から分析し、その存在価値を理解する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	音楽ジャンルとアイデンティティ J-POPのアイデンティティを探る。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	J-POPの立ち位置 J-POPの政治的領域への介入ケースについて認識する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	シンボルとしてのJ-POPの「J」 「J」という文字が、どのようなコンテキストで使用され、何をシンボル化しているのかを認識する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	平成歌謡としてのJ-POP 平成歌謡と平成文学との共通項を認識し、さらに令和の時代の音楽について考える。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	ファッションの流行・言葉の流行 身近なファッションや言葉についてのトレンド・小史を概観し、シンボリック相互作用論について理解する。	講義、ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	授業全体のまとめ 授業全体の内容を振り返るとともに、先回取り上げたファッションの流行について基礎的知識をまとめた動画を視聴する。 google formで授業の感想を提出する。	オンデマンド配信	授業の感想をgoogle formで提出する。	予習：授業全体の内容を理解する。 復習：授業のなかで学んだ社会学理論や専門用語等を自らの知として活用できるようにする。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力